

8-1-8 広報戦略委員会

1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値を国民に周知理解されていないのが現状と言える。

業界の担い手確保という観点から、優秀な若者が興味と期待を持って活躍できる活性化した産業として建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」「経済活動」「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解してもらう工夫が必要である。

そのため、社会インフラの意義と必要性、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

2. 主な活動の記録

令和4年度の広報戦略委員会の活動は、6月及び2月の2回にわたり開催した。

6月に開催した第1回広報戦略会議では、令和4年度の広報活動計画を確認するとともに、3つの専門委員会の活動内容を確認し、協会の広報活動に関する意見交換を行った。協議内容は以下のとおり。

- a) 令和3年度広報活動報告及び令和4年度活動報告

- b) 広報専門委員会の活動報告
- c) 広報事業専門委員会の活動報告
- d) 会誌編集専門委員会の活動報告
- e) 各支部からの報告
- f) 広報活動に関する意見交換
 - ・建コン白書「新しいニーズへの建コンの挑戦」の章を別冊として活用することについて、次回の広報戦略委員会へ提案することが確認された。
 - ・広報3委員会や他委員会との連携と効果的な活動への集約を意識して活動することが確認された。

2月に開催した第2回広報戦略会議では、3つの専門委員会の活動内容を確認し、協会の広報活動に関する意見交換を行った。協議内容は以下のとおり。

- a) 広報専門委員会の活動報告
 - ・YouTubeに掲載するリクルート動画についてイメージ動画とインタビュー動画の2案に対し意見を伺い、建コン企業で働く人が出演するインタビュー動画への要望が高いことが確認された。
- b) 広報事業専門委員会の活動報告
 - ・フォトコンテストの作品を利用したインフラツーリズムの活用について提案があった。
 - ・学生論文の応募数減への対応策について、論文の文字数を減らすことについて提案があった。
- c) 会誌編集専門委員会の活動報告
 - ・インフラ整備構想を広報誌に掲載することについて掲載方法の検討依頼があった。
- d) 広報活動に関する意見交換
 - ・若手技術者の会が積極的な広報活動をしているので連携をしてはどうかという提案があった。

(広報戦略委員会委員長 野崎 秀則)